

JA 全農 ET センターニュース平成 20 年 1 月号

明けましておめでとうございます。本年も皆様にとって、有益な 1 年となりますよう御祈念申し上げます。今回は本年 2 月に全農本所（東京都大手町）にて開催されます受精卵移植技術研究会の内容を紹介させていただきます。開催案内については後日文書を発送します。参加を御希望される北海道内の方は ET センター宮越（TEL：01564-2-5811）へ、府県の方は本所畜産生産部生産振興課小田島（TEL：03-3245-7224）へ御連絡ください。

昨年、12 月 10 日に千葉県の宮澤農産より和牛の牛肉輸出が始まり出発式がとりおこなわれました。宮澤農産は養鶏を中心に生産事業を行なってきましたが、2003 年に和牛の繁殖・肥育の一貫牧場を立ち上げました。F1 交雑種を多産取りに活用して、当 ET センターの和牛受精卵を全量利用して移植し、ET 和牛子牛を生産、その後、人工哺育、育成、肥育し、生体出荷を行っていましたが、今まで A4 等級以上が 90%と安定していることから、全農ミートフーズを窓口にして、サーロイン、リブロースやヒレの高級部位を米国の高級ホテル等へ輸出することとなりました。今後、毎月 15-16 頭分を米国などへ輸出する予定になっています。

農事組合法人宮澤農産さんの飼養管理等のすばらしさをベースに、JA グループにおける総合力（遺伝的な育種価等を考慮した受精卵の生産と供給＝全農 ET センター、人工哺育・育成・肥育技術指導＝全農飼料畜産中央研究所、東日本くみあい飼料、和牛肉の輸出版売＝全農ミートフーズ、これら一連のコーディネートや現地移植＝JA ちばみどり、千葉 NOSAI、全農千葉県本部）を発揮して、新たな事業モデルができあがりました。

今回の研修会は上記内容の紹介を中心に以下日程で開催いたしますので、奮って御参加いただければ幸いです。

<平成 19 年度受精卵移植技術研究会案内>

日時：平成 20 年 2 月 29 日金曜日 午後 1 時 30 分-5 時 30 分

場所：JA 全農本所 801 会議室

（東京都千代田区大手町 1 - 8 - 3 農協ビル：地下鉄丸の内線大手町駅下車）

内容： F1 妊娠牛を活用した和牛一貫繁殖・肥育経営について

〃 和牛生産基盤対策の事例（宮崎）について

ET 受精卵から生産されたブランド和牛牛肉の販売について

和牛血統から見た枝肉成績について

ET センタ - 研究報告

総合討論

以 上